【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公開番号】特開2007-224918(P2007-224918A)
【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)
【年通号数】公開・登録公報2007-034
【出願番号】特願2007-44824(P2007-44824)
【国際特許分類】
*Ｆ０１Ｄ　21/00　　(2006.01)*
*Ｆ０１Ｄ　25/00　　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｄ　21/00　　Ｗ
Ｆ０１Ｄ　25/00　　Ｗ
Ｆ０１Ｄ　21/00　　Ｍ
Ｆ０１Ｄ　21/00　　Ｅ
Ｆ０１Ｄ　21/00　　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月18日(2010.2.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
通常、動作パラメータの制限値は制限値を超過した大きさと期間との両方により定義される。短い時間期間であれば、パラメータが設定された制限値を超えても悪影響が生じないと考えられるが、このパラメータが長い時間期間にわたって制限値を超えると、装置が損傷する可能性が生じる。同様に、パラメータの変化の速度が緩やかであれば、悪影響が生じないと考えられるが、その一方で、パラメータの大きさが急激に増加または減少した場合、装置が損傷する可能性が生じる。例えば、タービンの蒸気温度の増加が緩やかであれば、装置に損傷が生じないと考えられるが、蒸気温度の増加が急激であれば蒸気タービンに重大な損傷が発生する可能性が生じる。
【特許文献１】米国特許第６６４７７２８号明細書